

ボランティアの
編集委員が
つくっています



バックナンバーをWebにて公開中

芝情報誌

検索

SHIBA-TAG

しばタグ

ハロー！プラネタリウム
～天空に星と感性を輝かせて～



夕焼け投影



プラネタリウムチーム リーダー高木右京さん

“都会の真ん中で科学にふれる”「港区立みなと科学館」は、令和2年(2020)6月、港区虎ノ門にオープンした科学館です。

そして、この「港区立みなと科学館」が誕生した所は、わが国最初の公立小学校である東京府小学第一校の流れをくむ旧港区立竈絵小学校の由緒ある跡地です。

建物は、地上14階建ての(気象庁のある)ビルとして親しまれ、ビル1階に「みなと科学館」、2階に「みなと科学館プラネタリウム」と「気象科学館」が設置されています。

今回は、みなと科学館のプラネタリウムに体験取材させていただきました。

プラネタリウムチームのリーダー高木右京さん、
渉外広報チームの中村真理子さんにお話を伺い

ました。

直径15mのドーム型ホールの「みなと科学館プラネタリウム」には、さまざまな番組プログラムがあり、その中には、オリジナル番組も取りそろえられています。

6名のプラネタリウム解説員による星空投影【生解説付き】は、同じ番組でも、それぞれの解説員の語り方が違うのも魅力です。



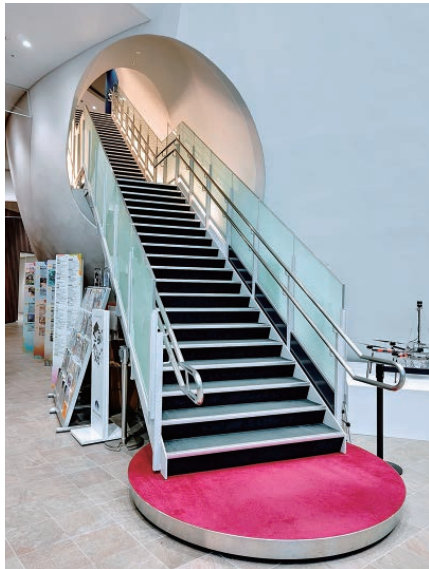
旧港区立竈絵小学校の碑もあります



気象庁のあるビル全景



「港区立みなと科学館」の入口



「みなと科学館プラネタリウム」への
エントランス入口階段



投影機材(光学式・デジタル式)の
解説をしてくださる高木さん

それでは、映像・音響技術の臨場感もあふれるプラネタリウムの番組をいくつかご紹介します。

★お仕事がえりのプラネタリム★

お帰り前に、ほっと一息。落ち着いたBGMとともに満天の星と特別な『星座絵』をお届けします。



11月・12月の 投影日

11月19日(水)
26日(水)
12月 3日(水)
10日(水)
17日(水)
24日(水)

★星と英語であそぼう! inプラネタリウム★

ネイティブの英語の先生とプラネタリウム解説員が、子どもたちとやりとりをしながら行うプログラム。いっしょに、星と英語であそびましょう!

11月～3月の 投影日

11月29日(土)
12月21日(日)
1月24日(土)
2月15日(日)
3月14日(土)
〈時間〉
10:30～11:10



みなと科学館イチオシの新プログラム



世界の星空ツアー! フィンランド編

〈上映期間〉
11月15日(土)～
12月25日(木)



アッテンボロー博士と 秘密の博物館

〈上映期間〉
12月10日(水)～
2月23日(月・祝)

お待ちしております!

★リクエストプラネタリウム★



【リクエストプラネタリウム】応募用
紙の申し込み「専用ポスト」

リクエストプラネタリウムは、応募用紙で館内専用ポストまたは、科学館のホームページから、お申込みできます。

あなたの見たい星空がリクエストできます。過去はもちろん、未来のことも。星空のエピソードとあわせて、その時・その場所の星空を解説員が紹介してくれます。

投影中に、スマートフォンなどカメラで、星空を撮影できるシーンがあり、「あなたの星空」を手元に残せます。

番組プログラムは、季節ごとに変わるので、それも楽しみのひとつです。

『学習投影』もご用意しておりますので、港区内・外を問わず多くの小・中学校の『移動教室』としても訪れてほしいです。星の動きをプラネタリウムで体験することで、教科書だけでは得られない実感を伴った理解が得られ、科学への興味や想像力を広げる学びの場となっています」と中村さんは話します。

みなと科学館は、『科学館の利用者が、日常生活の中でも科学を身近なものとして捉え、その知識と教養を持って、自分たちの生活する地球の未来を想像する活動を大切にします』という理念があります。

今回、この「しばタグ」地域情報誌の表紙のためにリクエストした「夕焼け空」港区バージョン(表紙写真)を、高木さんと解説員の重井美香さんが投



座席数121席を完備。座席シートは、
ゆったりとしています



解説員の星空【生解説投影】は、このブースで行われます。手に持っているのは、実際に使用されているポインター

影してくださいました。すると、あっという間に星空の始まりを告げる夕焼け空が一面に広がり、幻想的な雰囲気包まれました。

光学式投影機「オルフェウス」と4Kデジタル式全天周映像システムのハイブリッド・プラネタリウムによって、あらゆる空や景色を作り出すことが可能だそうです。

都会にいながら満天の星とのひととき。みなと科学館プラネタリウムに、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

文・写真：桑原 庸嘉子

INFORMATION

港区立みなと科学館 虎ノ門3-6-9 気象庁1・2階
TEL 03-6381-5041

●開館時間 9:00～20:00
●休館日 第2月曜日(その日が祝日の場合は翌日)/年末年始(12月29日～1月3日)/臨時休館日あり
※車椅子、耳のご不自由な方へのアシストフォンも対応しています。また、一部の番組では副音声(英語)をお聞きいただけます。事前にご予約・お問い合わせください。

<https://www.minato-kagaku.tokyo/>

お芝の老舗

芝神明商店街の老舗 お総菜とアートの融合 「伊豆屋」

高層ビルがひしめくビジネス街、港区芝大門。その一角にある芝神明商店街に、どこか懐かしい空気をまとった1軒がたたずみます。90年以上の歴史を刻む食品・総菜の老舗「伊豆屋」です。3代にわたり、味と人情の物語を紡いできました。

現在、3代目としてのれんを守る谷澤妙子さんにお話を伺いました。歴史、家族の想い、そして地元とのつながり。そのすべてが、一つひとつの品物に込められています。

初代・梅佐さんの志 「おいしいものを届けたい」

伊豆屋の創業は昭和4年(1929)。初代・谷澤梅佐さんは、妙子さんの祖父にあたります。若い頃に静岡県伊豆から上京し、修業を重ねました。

「おいしいものを、真心で届けたい」——その一心で、料亭の多いこの界隈に「伊豆屋」を開店。戦前から続くこの店舗は、地域の人々の食卓を支える存在として、長く愛されてきました。

2代目・英助さんの革新と挑戦

2代目は谷澤英助さん。妙子さんの父です。常に顧客のことを考えていたと語られるほど仕事熱心な人物でした。戦後の復興期から高度経済成長期にかけ、いち早く海外の素材を取り入れ、周辺企業の間で評判を呼びます。

自家製の栗きんとんや黒豆煮、田作りは、今なお語り継がれる絶品の味です。平成8年(1996)には、農林水産省の助成事業において「優良食料品モデル店」として表彰され、その功績が広く認められます。

父の英助さんが腕を振るっていた頃の懐かしい写真には現在もお店を支えているお母さまも写っており、店舗には商品が壁いっぱい並び、当時の気気が伝わってきます。

外国の方に「こちらもおいしいですよ」と勧めると、それ以来ずっと購入が続きました。美味な物は世界共通だと、家族で実感した記憶があると、話してくれました。



市場の食材を使用して、調理されています



受け継がれる味。黒豆煮や栗きんとん、田作りはお正月に限らず、人気の総菜



毎日仕入れる、豊洲市場の目利き人による新鮮な魚類

3代目・妙子さんの自由と芸術の融合

3代目を継いだ妙子さん。商店街で生まれ育った生粋の「芝っ子」です。美術大学でデザインを専攻した後、渡米先で、材料をただ並べるのではない自由で芸術的な空間を持つグロサリーストアに出合いました。現在、日常の買い物空間で感性を刺激するような、柔軟な発想で店を切り盛りしています。

「食べることは宝。一人でも多くの方に思いやりを届けたい」——その信念のもとで、素材一つひとつに飽くなき完成度を求め、毎朝豊洲市場へ足を運びます。冷凍品は使用しません。総菜の調理はその日の仕入れで決まります。予定していた献立も、天候に左右されるため、その日の状況で変更します。

調理を担うのは妹の延江さんです。父の味を受け継いだ黒豆煮は人気の逸品。しっとりとした食感に歯ごたえを残しつつ、現代の嗜好に合わせ甘さ控えめに仕上げています。姉妹で「おいしく、楽しく、美しく」を届ける志をとし、訪れる人を迎えます。

取材日には、新鮮な刺身や旬の食材、煮物、焼き物、蒸し物などが並び、どれも安心して口にできる基準で選ばれ調理されていると実感しました。

新築工事、そして未来へ

令和2年(2020)の耐震調査を機に、店舗の新築を決意しました。かつて食材が壁一面を埋めていた店内は、ぬくもりを感じさせるモダンな空間へ一新。同時に、非対面販



お店で働くご両親さんが写っている思い出のアルバム

売の需要に応え通販サイトも開設。フランス語を併記した芸術的なデザインに、「自由と芸術」の感性が光ります。

「開けた時にうれしくなる贈り物を」との想いを込め、贈答品の包装や見せ方にも趣向を凝らします。近隣企業に勤める方や地元住民が次々と訪れ、「地域の方々に支えられています」と謙虚に商いを続ける姿勢には、「芝っ子」ならではの商才と人情がにじみ出ています。粋でいなせ、正義感が強く、良質なものをだけを届ける強い意志。そして素朴な笑顔と温かい人柄。この地域に培われた気質が、接客や品選び、おもてなしの心に表れています。

芝神明の“味の記憶”を守る

この店には、味の伝承、まちの歴史、そして日本の食文化が息づいています。3代にわたる心遣いの味は、これからも地元の人々の暮らしを彩り続けるでしょう。「素材の持ち味を大切に」——その言葉の裏には、90年余りの努力と、芝神明地域への深い愛情が込められています。

「伊豆屋の灯をともし続け、お一人でも多くのお客様さまにご来店いただけますよう、がんばります」と笑顔で話す妙子さん。芸術の域に達した食の世界で、おいしさと美しさを追い求める探究心に心打たれました。

取材：森 明/早川 由紀 文・写真：早川 由紀

INFORMATION

芝神明商店街 伊豆屋

芝大門1-6-4

TEL 03-3431-7610

<https://www.maisonizuya.com/>

Illuminato People

どこまでも明るく前向きに 地域の太陽のような存在の 校長先生

芝浜小学校校長 みやざきなおと
宮崎直人先生

区立小学校の校長先生でありながら、地域の人気者でもある宮崎直人先生。校長室から一歩出れば生徒たちに囲まれ、保護者たちには絶大な人気を誇り、地域のお祭りでは近隣の人に次々に声をかけられる人気ぶり。「校長先生」のイメージの枠をよい意味で大きく突き抜けています。フランスの日本人学校や離島での勤務経験もあるという宮崎直人先生の素顔に迫ってきました。

—まず、自己紹介をお願いします。

宮崎：芝浜小学校校長の宮崎直人です。芝地区の赤羽小学校で校長や赤羽幼稚園で園長として5年間勤めた後、芝浜小学校が開校した時に着任して4年目になりました。

—先生が教育に携わるようになったきっかけは何ですか？

宮崎：大学時代のボランティア活動で、小学生と関わったことがきっかけです。

—先生が日々大切にしていることを教えてください。

宮崎：常に前向きな気持ちを持ち続けチャレンジすることです。今年度の芝浜小学校のスローガンも、「やる気・元気・勇気・本気・根気 Go for it! Shibahama Children!!」です。

—学校を運営する上で心がけていること、工夫していることは何でしょうか？

宮崎：できる限り子どもたちと関わり、コミュニ



廊下の壁に掲げられた今年度のスローガン。それは、宮崎先生の教育に対する信念そのものです

ケーションを深めるようにしていることでしょうか。毎朝、正門に立って子どもたちを迎えたり、休み時間には可能な限り校長室を開放して、子どもたちが気軽にきて遊んだり話したりできるようにしています。そして常に、「応援しているよ」というメッセージを伝えるように心がけています。

—これからの教育現場に大切だと思うことは何ですか？ また、港区の教育現場の特色にはどういったものがありますか？

宮崎：子どもたちが学習する環境や生活する環境はどんどん変わっていきますが、子どもたち自身の本質は、昔も今も大きくは変わらないと思っています。「実際に見たり、聞いたり、体験したりすること」や「いろいろな人たちと触れ合うこと」を大切にしたいです。

港区は、全国でも有名な観光地や放送局、大使館が多かったり、企業の本社が集まっていたりと流行の最先端をいくようなイメージがありますが、一方ではお祭りが盛んだったり、伝統的な文化が根付いていたりしていて、とても魅力的な地区だと思います。このような港区の良さも学校教育に生かしていきたいと考えています。

—お忙しい毎日だと思いますが、先生ご自身の趣味やリフレッシュ方法を教えてください。



全校集会の時に全校児童の前でお話をする宮崎先生。常に子どもたちに笑顔を届けるサービス精神にあふれています



校旗の横で、ガッツポーズをとる宮崎先生。お話の端々に、力強さとともに、親しみやすさがにじみ出ていました



赤羽幼稚園の園長先生時代、お誕生日会で子どもにプレゼントした宮崎先生手作りのバルーンアートたち

宮崎：一つは体を動かすことです。みなとシティハーフマラソンも走ったことがあります。また、旅行が好きで、最近は車で出かけたりもしています。大阪万博にも車で行こうと思っています。毎日のリフレッシュ方法は、よく寝ること、そしてお風呂も気持ちが切り替わるので好きです。お酒を飲むのもリフレッシュになっています。

—先生、やはりパワフルすごいですよね！では最後に、子どもたちへのメッセージをお願いします。

宮崎：今頑張っていることを大切にしながら、「夢」や「目標」に向かって努力できる人、回りの人たちを大切にできる人になってほしいと思います。夢中になれることを見つけて、今しかできないことを思いきり楽しんでください。

—今日はありがとうございました

宮崎：ありがとうございました。

聞き手・文：逸見 チェコ



地域とともに、学び続ける喜びを

ばるーんは、一人ひとりが主体的に学びに向かう姿勢を大切にしながら、互いに学び合うことができる、港区の生涯学習の拠点です。多様な年代、ライフスタイルに応じ、【いつでも、どこでも、だれでも】参加できる、学びの機会を提供しています。

1階から4階まで、広さや形態の異なる12の学習室では、登録団体の皆さんが学習活動、音楽活動、スポーツなど、さまざまな活動を行っています。それぞれの団体が工夫をこらしながら、楽しく、そして意欲的に取り組んでいます。施設全体が、学びと交流の場として賑わい、地域のつながりを育む大切な場所になっていると感じました。

ばるーんでは、新たな取組として、12月11日(木)に、ばるーんゼミナール教養編「鏡の前で、心も整う。メンズスキンケア習慣」を開催します。かつては「男たるもの我慢」と考えていた講師の伊藤総さんは、スキンケアを通じて自分をいたわる大切さに気づいたと言います。この講座に参加して、肌に触れ、自分自身を大切にする時間を体験してみませんか？

取材・文：千葉 みな子

INFORMATION

港区立生涯学習センター(ばるーん)
新橋3-16-3
TEL 03-3431-1606 MAIL baloon@kissport.or.jp
https://www.kissport.or.jp/sisetu/shogaigakusyu/guide/



301学習室、101学習室での団体活動の様子



ばるーんゼミナール教養編 『鏡の前で、心も整う。メンズスキンケア習慣』



- 開催日 12月11日(木) 19:15~21:00
- 対象 港区在住・在勤・在学者の方
- 定員 30名

詳しい内容、申し込み方法などは、Kissポート財団のホームページ、キスポート誌11月号をご覧ください。左の2次元コードからもご覧いただけます。

芝の家・ちゃぶ台日誌 冬編



ご近所にお住まいのネパール出身の方たちに、いつもご家庭で食べているネパール料理を教えていただき、みんなで作りました。食材は、近所のお店で購入したものにプラス、ニンニクは芝の家のプランターで育てたものを！一緒に調理をしながら知らない食材や料理方法などもたくさん教えてもらいました。そして、暑い夏にぴったりのスパイスの効いたとってもおいしいネパール料理ができました。盛り付けも素敵ですよ。ごちそうさまでした！



どなたでも自由に入出りできる「まちの交流拠点」芝の家。日々、近所の方から遠方の方まで、年代も0歳～学生～シニア世代の方まで、多種多様な方が立ち寄ります。駄菓子の販売もあります。おもちゃで遊んだり、紙や布でものづくりをする方、宿題をしたり読書をする方、思い思いの過ごし方をしながら、ゆるやかな交流が生まれています。



15周年記念で制作した「芝の家オリジナル手ぬぐい」に刺しゅうをするワークショップを開催しました。「刺しゅう初心者」の方もいらっしゃいましたが、皆さんとっても素敵にできました。



「ちゃぶ台日誌」は、芝の家ホームページにて日々の様子やイベントのお知らせを投稿するブログのタイトル。ホームページも合わせてご覧ください。

芝の家の駄菓子の数々。お子さんから大人の皆さんまで世代を超えて人気です。



文：芝の家・芝地区総会支所協働推進課

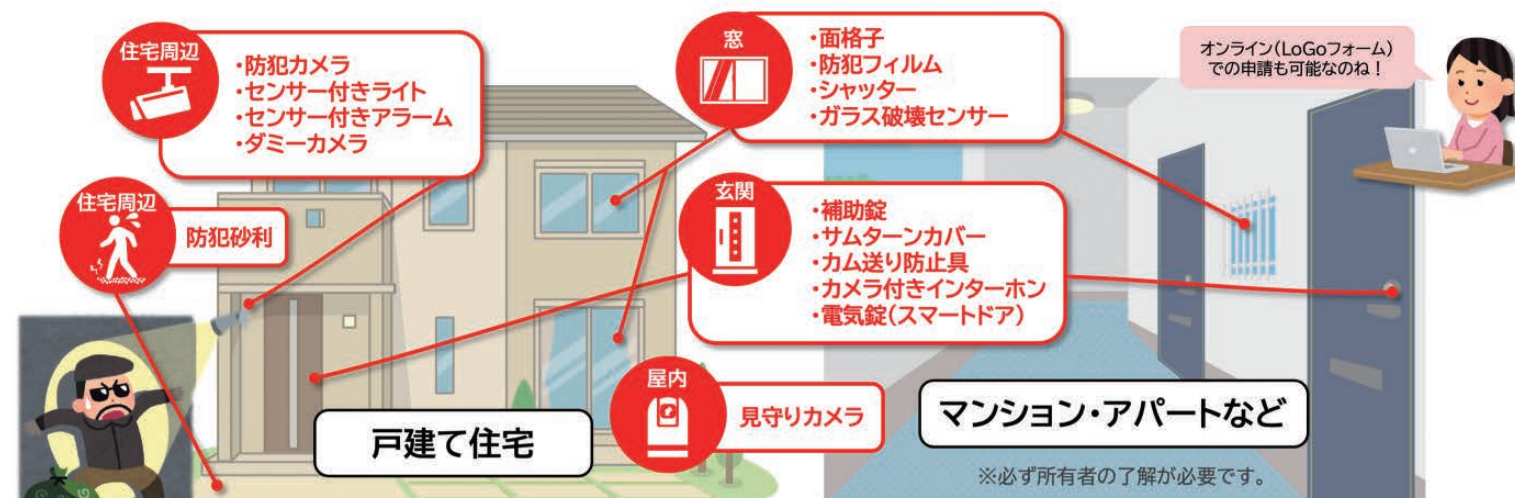
港区からのお知らせ

住まいの防犯対策にかかる費用を助成します！

近年、強盗事件などの犯罪が増加傾向にあります。

「安全で安心な生活」を守るために、自宅の防犯対策を強化しませんか？

令和7年度は、防犯対策費用の助成を臨時的に拡充しています！



- 対象となる方 区内に住民票がある世帯
- 助成の対象となる防犯対策 現在居住している住宅に行った以下のような対策
 - 鍵の交換 ●窓への防犯フィルム貼付 ●防犯カメラの設置 など
- 助成額 費用の4分の3 (5,000円以上、上限40,000円※) ※100円未満は切り捨て
- 申請方法 電子申請・郵送・窓口持参のいずれかで申請できます。

<電子申請の場合>

申請フォームから申請後、領収書(原本)※をお住まいの地区の総合支所協働推進課協働推進係へ提出してください。
※領収書が電子データの場合は、申請時に添付可能です。

<郵送・窓口持参の場合>

申請書に必要事項を記入し、領収書(原本)を添えてお住まいの地区の総合支所協働推進課協働推進係へ提出してください。

- 注意事項
 - 費用を支払った日から90日以内に申請してください。
 - 領収書は返却できません。
 - 助成は年度内に1世帯1回限りです。
 - 賃貸住宅の場合は、所有者の了解が必要です。

- 問合せ 各総合支所 協働推進課 協働推進係

芝地区	TEL 03-3578-3123	麻布地区	TEL 03-5114-8802
赤坂地区	TEL 03-5413-7272	高輪地区	TEL 03-5421-7621
芝浦港南地区....	TEL 03-6400-0031		



申請フォーム



港都税事務所からのお知らせ

小規模非住宅用地の 固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

一画地における非住宅用地の面積が400㎡以下であるもののうち、200㎡までの部分について、固定資産税・都市計画税の税額の2割を減免します(個人または資本金・出資金の額が1億円以下の法人等が所有するものに限り)。減免を受けるためには、令和7年(2025)12月26日(金)までに申請が必要です。

- *こちらの申請は、インターネットでもお手続きができます。
- *未申請の方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方には、9月までに減免手続のご案内を送付しております。

- 問い合わせ先：土地が所在する区にある都税事務所
[港区にある物件について]
港都税事務所 TEL 03-5549-3800(代表)

都税における納税証明は、 全ての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます

納税証明は全ての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1~2週間以内に納税証明を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え*(受付印のあるもの)の両方をお近くの都税事務所などの窓口までお持ちください。

※②は申告税目のみ

- 問い合わせ先：港都税事務所 TEL 03-5549-3800(代表)

にせ都税メール・電話にご注意ください！

都税事務所の職員を装って、個人情報などを不正に取得したり、金銭をだまし取ろうとする事例が発生しています。不審に感じた場合は即答せず、下記問合せ先までご連絡ください。また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

- 問い合わせ先：総務部 総務課 相談広報班 TEL 03-5388-2925



みんなと結ぶ「へいわ」 ～港区平和都市宣言40周年～

令和7年度は、戦後80年および港区平和都市宣言40周年という節目の年です。

港区は昭和60年(1985)8月15日に、世界の恒久平和を願い、核兵器の廃絶を広く訴える「港区平和都市宣言」を行いました。

今年度は、幅広い世代の区民の皆さんとともに平和の大切さを改めて考え、未来へと語り継いでいくため、「みんなと結ぶ「へいわ」」というテーマを掲げ、年間を通してさまざまな周年事業を実施しています。

戦争・戦災体験集(第4集)

港区平和都市宣言40周年にあたり、戦争体験者へのインタビューをはじめ、港区の戦争被害や戦争との関わりをまとめた「港区戦争・戦災体験集(第4集)」を制作しました。区内在住・在学の学生たちが、11名の戦争体験者の当時の記憶やそれぞれの平和への想いを丁寧に聴き取っています。

この体験集は、区内の小中学校や施設に配布しているほか、区のホームページにこの電子データと、インタビューの様子をまとめた動画を掲載しています。ぜひご覧ください！



戦争・戦災体験集(第4集)



戦争体験者の聴き取りの様子

ハガキと折り鶴で結ぶ「へいわ」

若者世代で構成する港区平和都市宣言40周年事業実行委員会が企画した区民参画型事業、「ハガキと折り鶴で結ぶ「へいわ」」への参加を区民の皆さんに呼びかけています。

この事業は、2つの取組で構成されています。

①ハガキアートで描く「へいわ」

あなたが思う平和や平和を感じる瞬間をテーマに、ハガキサイズの用紙にイラストやメッセージを描きます。集めたハガキアートは、平和関連事業での展示や、平和都市宣言40周年事業で制作する予定のモザイクアートの素材にします。

②「へいわ」の願いを込めた折り鶴の再生・循環プロジェクト

世界中から広島平和記念公園に届く折り鶴を再生紙に加工した再生おりがみで、平和の祈りを込めて再び折り鶴を作成します。この折り鶴を広島や長崎に捧げ、平和への想いを循環させることを目指します。



さまざまなイベントにも参加しています

このプロジェクトは、区の平和事業や保育園、児童館、子ども中高生プラザで取り組むほか、下記期間中に区内の施設で参加できます。この周年の機会に、平和について考えてみませんか。

- 実施施設 区内いきいきプラザ、区民センター、男女平等参画センター
- 実施期間 令和7年(2025)12月12日(金)まで



そのほかにも、さまざまな平和事業に取り組んでいます！
詳しくは、40周年事業特設ページをご覧ください。

◀40周年事業特設ページ二次元コード



大人も子どもも、平和への想いを込めて折り鶴を作っています

- 問い合わせ先：港区 総務部 総務課 人権・男女平等参画係 TEL 03-3578-2014



～芝地区テクテク～

⑦お寿司で江戸気分
作 逸見チエコ

江戸時代の
ごちそうって？

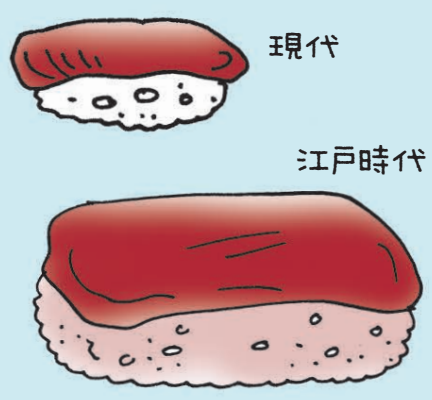
お寿司
天ぷら
お蕎麦
鰻の蒲焼
デザートは
ようかん…

再現してみました

3	1
4	2

江戸時代のファストフード
だったんだよ

現代
江戸時代



赤シャリ・漬けまぐろ*で、現在の2～3倍の大きさ！

お寿司!!

「しばテク」は
今回で最終回です
読んでくれて
ありがとうございました！

お腹いっぱいにな
ったところでご
あいさつを



しーばん

芝地区に住んで3年目。
まち歩きが趣味



ばっしー

芝地区にあるカフェの2代目
店主。歴史オタクでもある

*東京湾で獲れた魚介類を使用していた。
しめ鯖、こあじ、煮いかなどのお寿司も

芝地区
MAP

1～20
旧町名由来の
設置場所



港区役所 (芝地区総合支所)

1 港区立みなと科学館 → P1、P2
2 伊豆屋 → P3
3 生涯学習センター(ばるーん) → P5
4 芝の家 → P5

Follow me!

芝地区総合支所 公式SNS




Instagram
@minato_shiba_official

あなたも「しばタグ」の紙面を 作ってみませんか？

芝地区地域情報誌の編集委員募集中！

芝地区地域情報誌「しばタグ」は、企画から取材・原稿作成までをボランティアの編集委員が行っています。普段なかなか見せてもらえない所を取材することもあります。現在、誌面制作をお手伝いいただける**編集委員を募集**しています。編集会議は、和気あいあいとした自由な雰囲気です。「情報誌を作るのって難しそう…」—大丈夫です。ほかの編集委員や専門スタッフがサポートしますので、未経験でもぜひご応募ください。

こんな人にオススメ

- ◆ 人と話をすることが好き
- ◆ 写真を撮るのが好き
- ◆ もっと地域のことを知りたい
- ◆ みんなに紹介したい場所がある
- ◆ 新しいことを始めたい
- ◆ 地域の方と交流を深めたい など

見学だけでも
OK!

ご参加
お待ちしております



メール

●問い合わせ先：芝地区総合支所 協働推進課 TEL 03-3578-3192

各支所では、地域情報誌(情報紙)を
定期的に発行しています。

支所内各戸配布のほか、港区立図書館(高輪図書館分室を除く)・各いきいきプラザで閲覧可能です。

- 芝地区総合支所「しばタグ」
- 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」
- 赤坂地区総合支所「MYタウン赤坂・青山」
- 高輪地区総合支所「みなとっぴ」
- 芝浦港南地区総合支所「べいあっぷ」

区役所のサービスや施設・催しの案内
みなとコール
TEL 03-5472-3710
(年中無休 8:00～20:00)

買い物
するなら
地元の
商店街で

Going shopping?
Visit our
shopping
streets.

港区芝地区総合支所協働推進課
〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180
<https://www.city.minato.tokyo.jp>



区ホームページ

- 編集委員……伊藤早苗／菊池弓可／桑原庸嘉子／千葉みな子／中原たづ子／早川由紀／逸見チエコ／森明(敬称略)
- 配布場所……芝地区総合支所内の地域(芝、海岸一丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田～三丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕)の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています。